

# モンゴル事務所ニュースレター 2019年4月号

## トップニュース

### 日本モンゴル教育病院の引渡し式を開催！



4月1日、無償資金協力「[日本モンゴル教育病院建設計画](#)」でウランバートル（UB）市バヤンズルフ区に建設中の“日本モンゴル教育病院”の引渡し式が開催され、高岡正人駐モンゴル日本国大使やアマルサナー大統領顧問ら多くの関係者より、モンゴル初の教育病院としての、質の高い医療サービス提供や全国の医療人材育成拠点への期待が述べられました。また、技術協力プロジェクト（PJ）として病院の適切な運営管理に係る協力も実施しており、今後、施設内で準備を進め、2019年6月の部分開院を目指しています。

## プロジェクトの動き

### 「環境にやさしい革」開発に向けた覚書を締結



4月18日、中小企業・SDGs ビジネス支援事業「ラセッターなめし技術を活用したレザーのブランド化に係る基礎調査」の日本側実施団体・山口産業㈱とモンゴル企業2社（Mon Ireedui LLC、Mongol Shevro Co. Ltd）間で、有害物質のクロム不使用の環境に優しい「ラセッターなめし製法」の技術提供に関する覚書を締結しました。今後、モンゴルレザーのブランド化を念頭にモンゴル企業2社が試作品を開発し、2019年秋頃を目標に日本で発表会を行う予定です。

### 土地利用・土地利用変化及び林業（LULUCF）ワーキンググループ会合開催



4月19日、技術協力「[国家温室効果ガスインベントリの継続的な改善サイクル構築にかかる能力向上PJ](#)」において、LULUCFワーキンググループ会合が開催されました。モンゴルの温室効果ガス（GHG）インベントリでは、草地のGHG排出・吸収量の推定が最優先事項です。同会合には、モンゴル側実施機関の環境気候基金やモンゴル国立大学などから専門家が参加し、2019年夏に実施する土壌及びバイオマス情報収集調査の方針や算定の方法論が確認されました。

### 日本の高専留学組第1期生の帰国祝典・ジョブフェアが開催されました



円借款「[工学系高等教育事業](#)」（M-JEED）を通じ日本の高専に編入し、3年にわたり、IT、機械工学などの課程を修了した第1期生21名が2019年3月末に帰国しました。4月9日には、帰国祝典とモンゴル優良企業と帰国生のマッチングを行うジョブフェアが開催され、これから留学を控えたM-JEEDの学生たちも参加し、帰国後の進路を思い描く機会となりました。M-JEEDでは産業多角化を担う工学系人材育成に向けて、今後も日本の高専や大学へ留学生を派遣する予定です。

### 各県で開発診断ワークショップを開催中



開発計画調査型技術協力「国家総合開発計画策定PJ」では、モンゴル国内の各県を巡り、開発の制約やポテンシャルなどを議論する開発診断ワークショップを実施しています。4月8日にオルホン県エルデネト市で開催されたワークショップでは、行政官や一般市民など約30名が参加し、2時間以上にわたり熱い議論が繰り広げられました。本PJでは各県の意見を集約し、国・地域レベルの開発方向性をまとめていきます。

## 「公共投資計画策定能力強化PJ」第1回JCC開催



4月16日、技術協力「公共投資計画策定能力強化PJ」の第1回合同調整委員会（JCC）が開催されました。本PJは、開発政策や財源と整合した公共投資プログラム（PIP）を形成・実施・管理するための枠組み構築や人材育成を目的とするもので、2019年2月から4年間の予定で実施しています。本JCCでは、国家開発庁や大蔵省より、PIP策定に直面する課題や財政政策との連携などの現状が紹介され、今後の活動計画を合意しました。

## その他の事業の動き等

- 4月17日：多田融右長期専門家（獣医・畜産分野人材育成能力強化PJ）着任
- 4月29日：梅村孝司長期専門家（獣医・畜産分野人材育成能力強化PJ）離任

## ボランティア事業の動き

### ボランティア活動紹介（理科実験の普及を目指して）



モンゴルでは、実験材料の不足や教師が実験方法を知らないなどの理由で理科実験がほとんど実施されていません。福島未希JV（2017-2/理科教員/ドンドゴビ県教育局）は理科実験の普及に取り組んでいますが、4月8日には、同僚教師と協力して、地元教師15名を対象に「身近にある物を使った理科実験」セミナーを実施しました。地方で入手可能な紙コップやビニール袋、懐中電灯などを使用し、月の動き、磁力、音の実験などを紹介すると共に、その他の理科実験書が掲載されている教育分科会 [WEBサイト](#)も紹介し、実践的な理科実験ノウハウを伝えました。

## その他のボランティア情報

- JICA 海外協力隊の世界日記：阿部由美JV（2018-1/音楽教員/セレンゲ県教育局）[投稿記事](#)



## 研修・帰国研修員同窓会

### 2018年度グッドプラクティス賞の紹介（1）



私立新医科大学教授チョローンツェツェグ氏は、本邦研修「UB市ゲル地区住民における地域保健活動のための看護職人材育成事業コース」（2014年度）に参加後、日本で得た知見を基に、ソングノハイルハン区医療センター、各家庭病院の計845名の医師や看護師、約2800名の患者を対象に医療セミナーを開催したほか、同窓会の支援のもと、「高齢者の健康づくりのために家庭病院の看護師が果たすべき役割」セミナーを実施しました。このような積極的な活動が評価され、帰国研修員同窓会2018年度グッドプラクティス賞を受賞しました。[同窓会HP](#)

事務所ナショナルスタッフが日本語で執筆！

### コラム ～モンゴルの文化・生活事情紹介～ 「スタンドアップ・コメディ」

最近、特に若者たちの間でスタンドアップ・コメディが人気です。マイク一本、喋りと動きだけで笑いを生み出すスタイルは、従来のお笑いグループと異なり新鮮です。ネタはモンゴルの文化、日常生活など幅広く、特に若い女性関連ネタの面白さが評判です。UBでは毎晚上演している会場があり、いつも盛り上がっています。皆さん、（英語の回もありますが）モンゴル語上達のためにも一度足を運んでみたらいかがでしょうか。（ムギー所員）



独立行政法人 国際協力機構 モンゴル事務所

Bodi Tower 7th Floor, Sukhbaatar Square 3, Ulaanbaatar, Mongolia

Tel:+976-325939, 311329/Fax:+976-310845/E-mail: [mg\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:mg_oso_rep@jica.go.jp)

Web: [www.jica.go.jp/mongolia/index.html](http://www.jica.go.jp/mongolia/index.html)/FB: [JICA Mongolia](#)